

経営を学ぼう！

(一財) 公共経営研究機構 理事 関山 祐介氏

今まで普通と思っていたことが、突然、崩壊する。そして、みなが不安に襲われ、何が本当で何がウソなのか分からなくなる。2019年10月から発生し始めた Covid19 のパニックは、21世紀に生きる私たちに、大きな衝撃を与えた事件でした。

当たり前の生活が当たり前でなくなる。そこに、大きな差が生じました。

- ・ 今までの生活が将来も続いていこうと漠然と考えていた人たち。
- ・ 将来をできる限り予測して、状況が変化すると、それにすぐに対応していける人たち。

サラリーマン生活というのも、未来永劫変わらないものではありません。時代に呼応してどんどん変化していくものです。今回の Covid19 を経て、世界の労働環境は大きく変わりました。

手取り額だけに一喜一憂してばかりしてきた日本のサラリーマンの世界も大きく変わらざるをえません。実は、サラリーマンも給与所得者というフィルターはあるものの、立派な経営者なのです。でも、それをいつの間にか忘れてしまっています。

本来、ビジネスや仕事というものは、価値を生めばそれなりの対価が得られ、価値がなければ淘汰されていくものです。そして、その潮流がどんどん進展しているのが現代です。

サラリーマン、給与所得者だから身分は安泰ではないのです。

地域も同じです。いつまでも従来のおりに過ごしては、どんどん取り残されてしまいます。20年前、10年前と今を比較してみると、それははっきり分かります。

何も手を打たず、新しい物事にチャレンジしてこなかったところは、やはり産業は衰退し、住む人は減っていきます。それも、たった10年程度の期間で猛烈に衰退していつているのが分かるはずですよ。

ですから、これからの時代は、総合的に経営のノウハウを知り、それを使いこなせなければなりません。情報操作論、マーケティング論、組織論、人の使い方、金融、投資のノウハウ、そしてチャレンジとリスク回避の方法など、今まで、サラリーマンであれば、知らなくても勤まるとされてきたノウハウを総合的に体得し駆使しないと生き残れませんし、将来は見えてきません。

そして、もう一つ。インターネットを含む電子化社会は、さらにボーダーレスで、地域や時間にとらわれず、地域と海外との国際間の取引が激しく進むようになります。

誰もが気が付かず、気が付いていても臆して動かぬ地域や人が多い日本、国内や地域や身近な周辺の物事にしか目が届かぬ人たちが多くの中で、今回の MBA のノウハウを学んで、一歩先を歩むことは、地域の将来はもちろん自分の人生を経営していくにもきっとお役に立つと思います。

自分の人生の将来も、地域の将来も誰も責任を持ってはくれません。所詮は自分で歩まなければならないからです。

でも、一方で、何もかもが大きく変化する今、私たちは一大チャンスの渦の中にいます。ぜひ、MBA を学んで、チャンスを活かしましょう！

自治体職員、公益能率団体管理職を経て、(一財) 公共経営研究機構の設立に参画。これまで約 30 年にわたって総合計画、地域振興計画、シティセールス、人材育成基本方針、人事評価制度等の策定に関わり、自治体の経営改革を支援。加えて、職員研修の講師として公共 MBA、公共マーケティング、政策形成、政策法務、マネジメント、メディア対応、コンプライアンス等のテーマで全国各地の自治体に出向している。

